



平成 30 年 牧之原市 10 大ニュース



平成 30 年 12 月 25 日
牧之原市企画政策部情報交流課

■ 子育て支援施策の充実

子どもを産み、育てやすい環境が充実するよう様々な施策を推進しました。第3子以降(3歳児以上)の保育料無償化や子育て家族定住奨励金の要件緩和、さらに「こどもセンター」の開設や「さざんか」大規模改修に伴い「子育て支援センター榛原」及び「おもちゃ図書館」がリニューアルオープンしました。10 月にはカタショー・ワンラボ内に「子育て支援センターみらいえ」が開所するなど子育てに優しいまちづくりを進めています。



親子連れで賑わう
「支援センター榛原」開所式

■ 市民の安全を守る！津波避難施設整備完了

平成 26 年度から実施している津波避難施設 12 カ所全ての整備が完了しました。整備は沿岸5地区の皆さんとともに作成した「津波防災まちづくり計画」に基づき進められ、相良地区の津波避難地・避難路も今年度末には整備が全て完了する見込みです。



津波避難施設は全ての整備が完了

■ 公共施設最適化プロジェクトの推進

公共施設最適化プロジェクトでは「今ある施設を未来志向で賢く活用する」とともに「総量の削減」に取り組んでいます。今年度は榛原文化センターホール棟や坂部振興センターの解体、シーサイドプール地頭方を開場しました。これらの跡地は市民の安全安心や交流の場などとして活用が見込まれています。



たくさんの思い出をありがとう！

■ 水の駅「大江配水池」が完成(3月)

100 年使用できるなど耐久性に優れ、周辺地域に安定して水を供給することができる配水池が大江地区に完成しました。配水池の愛称は「水の駅大江」に決定。敷地内には、休憩スペースや水の仕組みを学習できるパネルなども設置され、地域の憩いの場、学習の場として利用できます。



完成式でテープカットを行う関係者ら

■ 田沼意次侯生誕 300 年イベント始まる(4月)

江戸幕府の老中を務め、遠州相良藩主として当地を納めた郷土の偉人「田沼意次侯」が来年、生誕 300 年を迎えます。今年度はイベントとして「ぶらり田沼の旅」などを開催。イベントを契機に意次侯の功績を再評価し、市の活性化につなげます。



「ぶらり田沼の旅」で解説を聞く参加者

■ カタショー・ワンラボ 華やかにオープン(4月)

旧片浜小学校を活用し、新たな教育・人づくりの拠点として(株)マキノハラボの運営がスタートしました。5 月には「カタショー・ワンラボオープニングイベント」が華やかに開催され、若者から子育て世代、高齢者や障がい者まであらゆる人の学び、遊び、地域課題の解決に取り組む場所として活用されています。



カタショー新たな一歩

■ 中国・米国サーフィンチーム来牧(8・9月)

米国(2 月)、中国(3 月)と事前合宿に関する覚書を締結。これにより両国は 9 月の世界選手権にあわせ当市を訪れました。中国チームは長期合宿を敢行後、同大会に出場。米国チームは同大会終了後、表彰メダルを手に当市を訪れました。両チームとも滞在期間中、日本文化体験などを通し市民と友好を深めました。



交流の効果が期待されるホストタウン事業

■ 野生サル出没 被害防止作戦実施(9月)

今春以降、市内各所で野生サルの目撃情報が寄せられました。9 月には新庄区付近の住民数人が野生サルに襲われたことから、市職員や牧之原警察署員等による被害防止作戦を実施しました。なお、この模様は全国ニュースなどでも大々的に取り上げられました。



野生サル 被害防止作戦

■ 市内児童・生徒がスポーツなどで大活躍(10 月・11 月)

10 月に開催された「ジュニアオリンピック陸上競技大会」で男子 110m ハードルに出場した富田幹斗選手(相良中 3 年)が優勝しました。11 月には校内花壇づくり等の活動が評価され、萩間小学校がフラワーブラボーコンクール(FBC)において大賞(最優秀賞)を受賞しました。



表彰式で受賞を喜ぶ児童ら

■ 空港旅客ターミナルビル・リニューアルオープン(12 月)

富士山静岡空港の機能向上と利便性向上を図るため、増築・改修工事を進めてきた旅客ターミナルビルがリニューアルし、オープン記念式典が 12 月に行われました。改修等により搭乗者数の増加や就航先の拡大などが見込まれ、富士山静岡空港を核とした賑わいづくりが期待されています。



リニューアルオープン記念式典